

-
- 【1】「総合的な探究の時間」を有意義に運営するための講習会が開催されました。
 - 【2】地学オリンピック・数学オリンピックについて
 - 【3】令和6年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会が開催されました。
-

- 【1】「総合的な探究の時間」を有意義に運営するための講習会が開催されました。

令和6年度『「総合的な探究の時間」を有意義に運営するための講習会』が、千葉県教育委員会の後援のもと、先進科学センター主催により8月7日(水)千葉大学西千葉キャンパス総合校舎2号館(G2)を会場に開催されました。この講習会には「総合的な探究の時間」の運営に日々尽力しておられる(一部東京都を含む)県下の高校52校から93名の教員のほか、講師として高校3校から8名の先生方が参加され、千葉大学からは加納博文先進科学センター長をはじめ16名が出席しました。主催者、後援者挨拶に続き、午前中は国際未来教育基幹の大窪晋特任教授による基調講演『「総合的な探究の時間」が持つ可能性～これから求められる能力とは～』の後、パネルディスカッション『高大接続から見た「総合的な探究の時間」とは』が催されました。パネルディスカッションでは、高大連携部長の高橋徹教授、高大連携支援室長の音賢一教授が登壇し、都立墨田川高校、県立佐倉高校の先生方から実践例が語られる中、会場内の参加者も一体となり活発な議論が展開されました。

午後は、千葉県立長生高校が開発した「長高メソッド」と称される総合的な探究の時間の指導方法のノウハウである、仮想授業を体験するワークショップでした。『テキストを読んで、ワークシートで作業を進めていけば、生徒はきちんと課題研究のテーマを決め、研究の形ができあがる』という授業方法です。探究活動において最も困難なのは「テーマ設定(テーマを如何に育てるか)」であることは周知の事実ですが、教員は「伴走者」としてのファシリテータに徹し、生徒が自ら主体的に活動する「自走」を旨とし、かつ指導する側にとっても過大な負担にならない授業のコツを、参加者全員で和気藹々と協働しながら実感できたようです。質疑応答も大変活発で、ファシリテータを務めた長生高校の教諭とのやり取りも途切れることなく続いていました。

この講習会での経験が、千葉県の「総合的な探究の時間」を有意義に運営したいと苦心されている全ての先生方の参考になることを期待します。

- 【2】地学オリンピック・数学オリンピックについて

○地学オリンピックについて

「第17回日本地学オリンピック」が下記の日程で行われます。

募集期間 : 2024年9月1日(日)～11月15日(金) (Web申込み)

一次予選 : 2024年12月15日(日) 16:30～17:30 自宅からのオンライン試験

二次予選 : 2025年1月26日(日) 14:00～15:30 全国指定会場

本選 : 2025年3月9日(日)～11日(火) 茨城県つくば市

詳細は右記URLをご覧ください。 <http://jeso.jp/index.html>

○数学オリンピックについて

「第 66 回国際数学オリンピック日本代表選手選抜試験である、第 35 回日本数学オリンピック (JMO)、第 23 回日本ジュニア数学オリンピック (JJMO) が下記の日程で行われます。

- ・予選実施日 2025 年 1 月 13 日 (月) 成人の日 13 時から 16 時
- ・受験会場 JMO は会場実施 (詳細は実施要項), JJMO はオンライン実施
- ・受験料 JMO 4,000 円, JJMO 3,000 円 (学校一括申込の場合には割引制度あり)
- ・申込方法 申込方法が昨年と変更になります。最初に Web 申込→ゆうちょ銀行振込
- ・募集期間 学校一括申込は 9 月 1 日から 9 月 30 日
個人申込みは 9 月 1 日から 10 月 25 日 (Web 申込締め切り)

詳細は右記 URL (募集要項は 8 月下旬掲載) をご覧ください。 <https://www.imojp.org/>

【3】令和 6 年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会が開催されました。

令和 6 年 8 月 7 日, 8 日に神戸国際展示場にて, 文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構が主催する「スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会」が開催され, 全国から 231 校が集まりポスター発表を行いました。発表は物理・工学分野 44 件, 数学・情報分野 32 件, 地学分野 24 件, 化学分野 50 件, 動物・医学系分野 (生物 A) 44 件, 植物・農学系分野 (生物 B) 37 件のポスターが貼り出され, 生徒同士の交流が活発に行われました。今年度から高校生や保護者なども参加することができる見学枠が設けられたため, 聴衆が途切れることなく, 発表者は研究の成果を存分に伝えることができました。千葉県からは, 学校法人芝浦工業大学柏中学高等学校の代表による発表がポスター発表賞を受賞しました。

- | | |
|--------------|--|
| 文部科学大臣表彰 | : 埼玉県立浦和第一女子高等学校 |
| 科学技術振興機構理事長賞 | : 学校法人札幌日本大学学園 札幌日本大学高等学校
兵庫県立神戸高等学校 |
| 審査委員長賞 | : 名古屋市立向陽高等学校
群馬県立前橋高等学校
兵庫県立宝塚北高等学校 |

その他の受賞校や発表会の詳細は下記 URL をご覧ください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/r6sshssf_00001.html

(千葉県立佐倉高等学校 金光康佑 理数科主任より寄稿)

【編集後記】

8 月 19 日は数字の語呂合わせでバイクの日であると共に俳句の日でもあるようだ。調べてみたら俳句甲子園もあり, 今年 27 回目の全国大会が催される。高校生の大会には〇〇甲子園という通称を用いる大会名は多い。俳句甲子園は正式名称で通称ではないらしい。私もかつて, 缶サット甲子園に携わったが, これも正式名称で通称ではない。高校生には, 自分の得意な様々な分野での甲子園を目指して欲しい。(橋)